令和 9 年度国際救援・開発協力事業
国際要員　募集要項
（令和 8 年 11 月 18 日付国企第 277 号通知添付）

1　共通事項

（1）応募要件（共通）

以下の要件を満たしていることを前提とする。

ア　国際救援・開発協力要員研修 II（IMPACT）を修了（または派遣前までに修了を予定）していること。

イ　安全管理研修 II を修了（または派遣前までに修了を予定）していること。

ウ　英語での協議、報告書等の作成及びその他業務の遂行が可能であること。

エ　派遣に際し、差し障り無い健康状態であること。

（2）留意事項（※必ず一読の上、応募を検討すること。）

ア　派遣期間の前後には、必要に応じて引継期間等が加えられること。

イ　現地情勢及び事業進捗等により、派遣募集自体の取り下げ及び派遣期間等が変更となる可能性が随時あること。

ウ　選考にあたり、国際部担当者と応募者本人とで面談（オンライン・30 分程度）を令和 9 年 1 月 12 日（火）～15 日（金）の期間に実施する。具体的な面談の日程については、応募書類の受領後に、おって国際部から日程調整の案内をすること。なお、下記 3「ICRC・連盟　緊急対応要員」のみ応募の場合は面談の対象外とする。

エ　連盟事業への応募枠については、国際部企画課派遣係とは別に連盟による選考プロセスを経る必要があること。

オ　各事業・ポジションに関する事業詳細及び職務内容は別紙も参照のこと。

（3）応募書類

各事業・ポジションで提出書類が異なるため、指示のある書類を提出してください。各応募書類の詳細は以下のとおり。なお、「英文 CV」及び「志望理由書」については、追加での問い合わせ等を行う場合があり、必要に応じて事業関係者に共有する可能性があること。

①　「応募様式」（Forms）

回答は支部・施設担当者が入力すること。

派遣の時期は、応募状況や現地情勢等により調整する可能性があることから、幅広に派遣可能期間を回答すること。複数の事業・ポジションに応募する場合は、希望する優先順位をつけて回答すること。
回答用 Forms：https://forms.cloud.microsoft/r/DKY6m0PZpg

記入項目：①支部・施設名　②施設担当者　所属・職・氏名　③施設担当者連絡先（電話番号）④応募者　氏名　⑤応募者　所属・職　⑥応募者　要員 ID（数字 4 桁）⑦（a）希望ポジション・事業名　（b）派遣可能期間　（c）備考（第 5 希望まで記入可）

② 「英文 CV」
ICRC 事業については指定のフォーマット（別添フォーマット）を使用し、その他のポジションについては、別添（CV_サンプル）の CV に記載されている項目を網羅した内容で作成すること。CV はすべて PDF 形式で提出すること。

③ 「志望理由書」（別添フォーマット）
別添フォーマットを使用し、PDF 形式で提出すること。

2　募集事業

【事業管理関連ポスト】

（1）　事業管理要員（トレーニー）：複数名（二国間事業及び連盟事業）

本募集は、将来的に国際活動において事業管理を担う要員を育成することを目的として、日本赤十字社が二国間事業を実施する現地代表部（ルワンダ、インドネシア、バングラデシュ）あるいは連盟（大洋州準地域事務所（在フィジー）もしくはパプアニューギニア国事務所）への派遣を行うものである。本募集においては、各事業におけるニーズと応募者の職種や経験、派遣可能期間等を踏まえ、本社国際部にて最適な派遣先事業及び派遣期間を決定すること。

ア　派遣期間

令和 9 年度（4 カ月～6 ヵ月程度、4 月以降に随時派遣開始予定）
※「応募様式」において派遣希望（可能）期間を明記すること。

イ　主な職務

【二国間事業（ルワンダ、インドネシア、バングラデシュ）】

- 現地代表部が行う事業管理業務補佐（連盟/姉妹社/本社等との連絡調整及び報告、各種情報収集及び整理、出張者/訪問者受入を含めたロジ管理、調達管理、会議運営、報告書作成、写真・動画撮影/文書編集等を含む広報等）
- 派遣国内における日赤既存事業の発展（新規事業策定、出口戦略含む）の可能性の検討及び検証
- その他、現地代表部が指定する業務（会議出席、出席報告作成、派遣先国外への業務出張等）

  ※派遣期間を通じて、日赤/現地代表部を代表して業務にあたる機会も付与される場合があること。

【連盟事業（フィジー、パプアニューギニア）】

連盟大洋州準地域事務所（フィジー）及び大洋州各国赤十字社において、日赤が支援する事業を中心に管理業務補佐（計画立案、モニタリング、会計業務等）を行う。連盟パプアニューギニア国事務所及びパプアニューギニア赤十字社が実施する事業の管理業務補佐（計画立案、モニタリング、会計業務等）を行う。

ウ　応募要件

- 海外派遣経験は問わない。
- 職種は問わない。
  - ルワンダ事業については、保健・公衆衛生分野における知見や経験があると望ましい。
  - インドネシア事業については、総合職としての業務経験があることが望ましい。また、地域防災や学校向けの防災教育の事業管理に従事することから、国内での防災・減災、災害救護に関連した業務経験があるとなおよい。
  - 連盟大洋州準地域事務所業務については、血液事業（特に献血推進）の業務経験があることが望ましい。
- 現地で経験する業務が未経験の内容であっても、自主的な学びを通じて、自ら積極的・主体的に業務に取り組む姿勢を持っていること。新しい環境や異文化のなかでも前向きに挑戦する意欲をもっていること。
- PCM 手法研修（計画・立案コース及びモニタリング・評価コース）を修了（または派遣前までに修了を予定）していることが望ましい。
- 基本的な Microsoft office ソフト（Word, Excel, Power Point, Outlook, Teams 等）の扱いに慣れていること。

エ　応募書類

①　「応募様式」（Forms）
②　「英文 CV」
③　「志望理由書」（別添フォーマット）

（２）　事務管理要員：１名（インドネシア防災強化事業・二国間）

ア　派遣期間

令和９年４～10 月（４～６か月程度を想定）
※現地の評価業務実施時期等を踏まえて調整すること。

イ　主な職務

インドネシア赤十字社と協働で実施している「インドネシア防災強化事業」の事業評価の準備、実施、報告業務を中心に、当該事業実施にかかるインドネシア日赤現地代表部業務に携わる。実施においては、現地代表部の管理の下業務を行う。

ウ　応募要件

- 国際要員としての海外派遣経験が１回以上あること。
- 職種は問わない。
- PCM 手法研修（計画・立案コース及びモニタリング・評価コース）を修了していること。
- 連盟が実施する PMER（Planning, Monitoring, Evaluation and Reporting）関連の研修を修了していること。
- 連盟もしくは二国間事業における評価やモニタリングの実施経験があると望ましい。

エ　応募書類

①　「応募様式」（Forms）
②　「英文 CV」

【DM（Disaster Management）関連ポスト】

（3） 連盟　アジア・大洋州地域事務所（マレーシア）DM 要員：２名（連盟事業）

ア　派遣期間

令和９年度（1 名あたり３ヵ月程度を想定）
※連盟の受入れ可能期間及び応募者の派遣可能時期等を踏まえて調整すること。
※「応募様式」において派遣希望（可能）期間を幅広に明記すること。

イ　主な職務

連盟アジア・大洋州地域事務所の Regional Operations Coordinator 等の指導のもと、連盟の緊急対応に関するガイドラインやツール、ワークフロー等に関して習熟する。また、域内の災害情報等のリスク分析やモニタリングを実施するほか、担当する域内の Operation に関して Focal Point として関係者との調整等を行う。

ウ　応募要件

- 海外派遣経験が複数回あること。（連盟が Operation Coordinator の養成を目的に実施しているプログラムへの参加であることから、将来的に連盟 Rapid Response 等でコーディネーターとしての派遣を目指す要員が望ましい。）
- 職種は問わない。
- 現地で経験する業務が未経験の内容であっても、自主的な学びを通じて、自ら積極的・主体的に業務に取り組む姿勢を持っていること。
- PCM 手法研修（計画・立案コース及びモニタリング・評価コース）を修了（または派遣前までに修了を予定）していることが望ましい。
- 基本的な Microsoft office ソフト（Word, Excel, Power Point, Outlook, Teams 等）の扱いに慣れていること。

エ　応募書類

① 「応募様式」（Forms）
② 「英文 CV」

【精神保健・心理社会的支援（MHPSS）関連ポスト】

（4） MHPSS 要員：1 名（モンゴル赤十字社保健支援事業・二国間）

ア　派遣期間

- 令和 9 年度（3 ヵ月程度を想定）
  ※現地の研修実施時期等を踏まえて調整すること。

イ　主な職務

　モンゴル赤十字社が実施する精神保健・心理社会的支援（MHPSS）活動の強化及び緊急対応支援のため、主に以下の業務を担う。

- ゾド（冬季に発生する、寒波、冷害）対応に紐づくこころのケアの体制づくりのため、モンゴル赤の担当職員と共に、こころのケアに関する評価ツールの作成や研修実施、事業の予算管理、関係者との連絡調整及び連携強化に対する支援。
- 特に緊急アピール等の緊急対応時において、MHPSS に関連する情報収集・分析、報告書の作成等の支援。

ウ　応募要件

- MHPSS 要員としての海外派遣経験が 1 回以上あること。
- 職種は問わない。
- MHPSS 研修（日本赤十字社医療センター主催）にファシリテーターとしての参加経験があること。
- PCM 手法研修（計画・立案コース及びモニタリング・評価コース）を修了していると望ましい。
- 連盟が実施する研修の受講歴があると望ましい。（2023 年東京開催の MHPSSiNE Training を含む）
- 日赤におけるこころのケア活動についての知見（こころのケア研修・指導者養成研修受講歴）があると望ましい。
- 連盟における事業管理についての知見や業務経験があると望ましい。

エ　応募書類

① 「応募様式」（Forms）
② 「英文 CV」

【保健医療（Health）関連ポスト】

（5） 事業管理要員：1名（ウクライナ人道危機救援事業・二国間）

ア 派遣期間

令和9年7月～令和10年6月
※現地派遣及びリモート派遣

イ 主な職務

日赤ウクライナ現地代表部にて、日赤がウクライナ赤十字社と実施する二国間支援事業（主に保健医療分野の事業）に関する各種調整及び保健医療分野に関する国際赤十字との各種調整を行う。また、同二国間支援事業に派遣される各種日赤職員の活動にかかる補佐等を行う。
※応募者の経歴等に応じ、職務内容が変更となる場合があること。

ウ 応募要件

- 海外派遣経験が複数回あること。
- 保健医療分野に関する知見があること。
- PCM手法研修（計画・立案コース及びモニタリング・評価コース）を修了（または派遣前までに修了を予定）していることが望ましい。
- 基本的なMicrosoft officeソフト（Word, Excel, Power Point, Outlook, Teams等）の扱いに慣れていること。

エ 応募書類

① 「応募様式」（Forms）
② 「英文CV」

（6） 連盟　アジア・大洋州地域事務所（マレーシア）保健要員（トレーニー）：1名（連盟事業）

ア 派遣期間

令和9年6月～令和10年6月

イ 主な職務

連盟アジア・大洋州地域事務所の保健（Health and Care）部門の一員として、部門担当者の指導のもと、アジア・大洋州地域における連盟各事務所及び各姉妹社と協力し、同地域内において、プライマリ・ヘルス・ケアに基づく保

健事業やファーストエイドの提供等に関する各種調整業務、技術的な助言等を行う。

ウ　応募要件

- 海外派遣経験は問わない。
- 職種は問わない。
- 保健医療に関する知見があり、保健医療サービス（病院等）の従事経験が5年以上あること。
- 赤十字救急法基礎講習及び救急員養成講習（またはそれに準じる講習）を修了（または派遣前に修了を予定）していること。赤十字救急法指導員養成講習を修了しているとなおよい。
- 保健医療に関連する修士号があるとなおよい。
- 国内での災害救護業務に従事した経験があるとなおよい。
- PCM手法研修（計画・立案コース及びモニタリング・評価コース）を修了（または派遣前までに修了を予定）していることが望ましい。
- 基本的なMicrosoft Officeソフト（Word, Excel, PowerPoint, Outlook, Teams）の扱いに慣れていること。

エ　応募書類

①「応募様式」（Forms）
②「英文CV」

（7）　地域保健（CBHFA）要員：1名（バングラデシュ南部避難民保健医療支援事業・二国間）

ア　派遣期間

令和9年4月～令和10年3月

イ　主な職務

日赤バングラデシュ現地代表部における事業管理責任者の監督のもと、バングラデシュ赤新月社、IFRC及び日赤を含む各国赤十字社・赤新月社と連携し、地域保健活動全体の質的向上のための技術支援を行う。併せて、事業最終年度に実施予定の事業評価に参画し、事業の成果及び課題の整理・総括に貢献する。

ウ　応募要件

- 海外派遣経験が１回以上あること。
- 職種は問わない。
- 地域保健に関する知見があること。
- PCM 手法研修（計画・立案コース及びモニタリング・評価コース）を修了（または派遣前までに修了を予定）していること。
- 基本的な Microsoft Office ソフト（Word, Excel, PowerPoint, Outlook, Teams）の扱いに慣れていること。
- 事業評価、モニタリング等の経験があれば望ましい。

エ　応募書類

① 「応募様式」（Forms）
② 「英文 CV」

（８）　連盟　欧州地域事務所（ハンガリー）保健要員：１名（連盟事業）

ア　派遣期間

令和９年４月～令和 10 年３月

イ　主な職務

欧州地域における地域保健、緊急時に対する備えや同地域内全体の医療サービスの強化等のため、連盟 欧州地域事務所の保健（Health and Care）部門の一員として、同地域内におけるプライマリ・ヘルス・ケアに基づく保健事業（緊急保健や高齢化対応等）やファーストエイドの提供等に関する各種調整業務や技術的な助言等を行う。

ウ　応募要件

- 海外派遣経験は問わないが、連盟業務に関する知見があるとよい。
- 職種は問わない。
- 保健医療に関する知見があり、保健医療サービス（病院等）の従事経験が５年以上あること。
- 英語での調整・協議・ファシリテーション、報告書等の作成及びその他の業務が遂行可能であること。赤十字救急法基礎講習及び救急員養成講習（またはそれに準じる講習）を修了（または派遣前に修了を予定）していること。赤十字救急法指導員養成講習を修了しているとなおよい。
- PCM 手法研修（計画・立案コース及びモニタリング・評価コース）を修了（または派遣前までに修了を予定）していることが望ましい。

- 保健医療に関連する修士号があるとなおよい。
- 基本的な Microsoft Office ソフト（Word, Excel, PowerPoint, Outlook）の扱いに慣れていること。

エ　応募書類

①「応募様式」（Forms）
②「英文 CV」

（9）　連盟　中東・北アフリカ事務所（エジプト）緊急保健要員：１名（連盟事業）

ア　派遣期間

令和 9 年 4 月～令和 10 年 3 月

イ　主な職務

中東・北アフリカ地域における特に 17 の各国赤十字・赤新月社及び各連盟事務所をはじめとする関係機関と協力し、様々な緊急保健に関する助言や支援を提供する。

※応募者の経歴により、職務等は若干変更となる可能性があること。

ウ　応募要件

- 海外派遣経験が複数回あること。
- 地域保健に関わる国際活動への派遣経験があること。
- 保健医療に関する知見があり、保健医療サービス（病院等）の従事経験が 5 年以上あること。
- 英語での調整・協議・ファシリテーション、報告書等の作成及びその他の業務が遂行可能であること。
- PCM 手法研修（計画・立案コース及びモニタリング・評価コース）を修了（または派遣前までに修了を予定）していることが望ましい。

エ　応募書類

①　「応募様式」（Forms）
②　「英文 CV」

【リハビリ関連ポスト】

（１０） 理学療法士Ａ：１名（ウクライナ人道危機救援事業・二国間）

ア　派遣期間

第１回：令和９年５月中旬～令和９年７月下旬（2.5 カ月）
第２回：令和９年 10 月初旬～令和９年 11 月下旬（2 か月）
※それぞれの派遣期間は多少の調整可能
※「応募様式」において派遣希望（可能）期間を明記すること。

イ　主な職務

ウクライナ赤十字社が実施する訪問リハビリテーション活動において、同社の理学療法士の能力強化に必要な技術支援を行う。また、訪問リハビリテーションサービスの標準化及び質の向上を支援し、地域基盤型リハビリテーション（CBR）の推進に貢献する。

ウ　応募要件

- 理学療法士としての臨床業務経験を有すること。また技術指導経験を有すること。
- 第１回、第２回の両派遣期間に対応できること。

エ　応募書類

① 「応募様式」（Forms）
② 「英文 CV」

（１１） 理学療法士Ｂ：１名（ウクライナ人道危機救援事業・二国間）

ア　派遣期間

令和９年７月初旬～令和９年８月中旬（5 週間）
※派遣期間は多少の調整可能。

イ　主な職務

ウクライナ赤十字社が実施する全国規模のニーズアセスメントの結果を踏まえ、リハビリスペースの設置・運営条件並びに提供するサービスの対象及び内容の整理・標準化を支援する。また、これらの知見をイヴァノ＝フランキウスク（IF）州での実践に活用し、持続可能な地域基盤型リハビリテーション（CBR）モデルの構築を支援する。

ウ　応募要件

- 理学療法士としての臨床業務経験を有すること。また技術指導経験を有すること。

エ　応募書類

①「応募様式」（Forms）
②「英文 CV」

（１２） 理学療法士Ｃ：１名（ウクライナ人道危機救援事業・二国間）

ア　派遣期間

令和９年８月初旬～令和９年 10 月中旬（2.5 カ月）
※派遣期間は多少の調整可能。

イ　主な職務

ウクライナ赤十字社が実施する地域での啓発・教育活動において、過去に研修を受けた非専門職の現場活動を視察し、他の地域基盤型リハビリテーション（CBR）サービスとの連携も含めた研修ニーズを把握する。また、同社と協働してフォローアップ研修を企画・実施し、CBR の推進に貢献する。

ウ　応募要件

- 理学療法士としての臨床業務経験を有すること。また技術指導経験を有すること。

エ　応募書類

①「応募様式」（Forms）
②「英文 CV」

（１３） 理学療法士または関連する専門性を有する医師：１名（中東人道危機救援事業（パレスチナ・ヨルダン川西岸地区）

ア 派遣期間

令和９年５月（この期間にて現地滞在 0.8~１か月）
※上記派遣期間内での派遣開始時期は応相談。
※実派遣の前後に数日間、リモート派遣（日本からのオンライン上での業務を想定）という形で現地職員との打ち合わせやアフターケアなどの活動に参加する可能性があること。

イ　主な職務

- パレスチナ赤新月社が実施するコミュニティにおけるリハビリテーション事業及び、緊急時のリハビリテーション対応能力の強化に関連して、以下のうち一つ、もしくは二つの活動を行う。
- 災害・紛争・緊急時におけるリハビリテーションに関する専門的な知識・技術及び実践経験の共有
- 疼痛管理、高齢者リハビリテーション、負傷者及び障害者への支援等、脳中枢神経リハビリテーションなど、現地のニーズに応じた専門的な技術指導
- 現地スタッフ及びボランティアが、アウトリーチ活動や緊急時のリハビリテーション対応に活用できる知識・技術の共有

ウ　応募要件

- 理学療法士、あるいはリハビリテーションに関わる医師としての臨床業務経験を有すること。
- 災害・紛争・緊急時におけるリハビリテーション支援の経験を有することが望ましい。特に、避難環境等における負傷者、高齢者及び障害者への支援経験を有することが望ましい。
- 医療・リハビリテーション分野における研修、技術指導又は能力開発の経験を有することが望ましい。
- 海外派遣経験が複数回あること（長期派遣経験があるとなお望ましいこと）。
- 調整業務を伴うため、係長と同等以上の管理実務経験があることが望ましい。
- PCM 手法研修（計画・立案コース及びモニタリング・評価コース）を修了（または派遣前までに修了を予定）していることが望ましい

エ　応募書類

①　「応募様式」（Forms）
②　「英文 CV」

3　ICRC・連盟　緊急対応要員

【連盟　緊急対応（RR：Rapid Response）要員】

連盟 RR 要員の公募については、応募者の令和 9 年度内における派遣可否を国際部企画課派遣係にて事前に把握するものである。連盟では年間を通じて各国での災害対応等のため RR にかかる派遣要請を各国姉妹社に対して行っている。現在、こうした RR

の要請に日赤から応募する際には国際部が窓口となって対応しているが、今後より迅速かつ積極的に連盟の RR 要請に応じられるよう、日赤内で派遣可能な要員を事前に国際部で把握しておくことを目的とする。

なお、実際の派遣については、連盟による要請ベースとなり、RR の要請の都度、別途選考プロセスを経る必要がある。（派遣を確約するものではないこと。）連盟からの要請は年間を通じて生じる予定であるため、応募者は応募時に最新の CV を提出し、応募期間終了後も派遣可否に変更等が生じた場合は、その都度国際部企画課派遣係あて共有すること。

ア　募集職種／分野及び派遣期間

実際の派遣については連盟からの要請ベースとなるが、緊急対応となるため１～３ヶ月の派遣を想定していること。募集職種は以下のとおり。

- 保健医療系コーディネーター（Health Coordinator）
- 保健医療系オフィサー（Health Officer）
- MHPSS コーディネーター
- MHPSS オフィサー
- ロジスティクス系コーディネーター
- ロジスティクス系オフィサー
- メドログオフィサー

※上記職種の標準 JD については、連盟サイト（IFRC GO Surge ページ）を参照すること。

イ　応募要件

- 海外派遣経験（ERU 派遣を除く）が１回以上あること。
- 連盟事業、また連盟の緊急対応に関する知見があることが望ましい。
- 連盟や姉妹社による募集職種・分野に関連する研修を受講していることが望ましい。

ウ　応募書類

① 「応募様式」（Forms）
② 「英文 CV」

【赤十字国際委員会（ICRC）事業】

ICRC 事業にかかる公募については、応募者の令和 9 年度内における派遣可否を ICRC に対して積極的に事前共有するものであり、実際の派遣については現地ニーズ等に基づく ICRC からの要請ベースとなる。（派遣を確約するものではないこと。） ICRC に対する事前共有は年間を通じて随時行う予定であるため、応募者は応募時に最新の CV を提出し、応募期間終了後も派遣可否に変更等が生じた場合は、その都度国際部企画課派遣係あて共有すること。また、過去に ICRC における要員登録がない要員については、別途、登録のための ICRC 側の選考プロセスを経る必要がある。（過去に選考プロセスにて登録に至らなかった要員についても同様であること。）

なお、具体的な派遣先については、ICRC が実施する中長期の医療支援事業や ICRC Rapid Deployment（緊急対応事業）等への派遣・登録を想定しており、「日本赤十字社国際救援・開発協力要員安全管理体制要綱」等に基づき、日本赤十字社と ICRC との調整によって決定されること。

ア　募集職種及び派遣期間

実際の派遣については ICRC からの要請ベースとなるが、最短でも 1 ヶ月の派遣を想定していること。募集職種は以下のとおり。

（ア） 医師
（イ） 看護師
（ウ） 助産師
（エ） 理学療法士
（オ） 薬剤師
（カ） 精神科医、臨床心理士
（キ） その他（Hospital Project Manager／Health Coordinator 等）

※本応募者については ICRC が適宜実施している Rapid Deployment Health 要員の登録対象となる。登録時には本社にて手続き後、ICRC 側での書類選考を経て登録されること。

イ　応募要件

- 海外派遣経験が複数回あることが望ましい。
- マニュアル（MT）の自動車運転免許を有していること。
- ICRC への派遣経験、または過去に日本赤十字社が実施した北イラク・クルド地域外傷外科実地研修、ウガンダ北部医療支援事業またはパレスチナ赤新月社医療支援事業の経験があるとなおよい。

- ICRC が主催する War Surgery Seminar や日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院が主催する災害外傷研修を修了しているとなおよい。

  ※参考（看護職のみ）：「赤十字の国際活動における看護実践能力向上のためのキャリア開発ラダー（令和 4 年 2 月改定）」の「レベル 1 以上」取得していることが望ましい。

ウ　応募書類

① 「応募様式」（Forms）
② 「英文 CV」（別添フォーマット）